

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】
 ○「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
 ○「個別最適な学び」「協働的な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
 ○いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校 目標】 進んで学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成
 ○伝え合い、高め合う学級集団づくり ～子どもたちがつながり合う取組を通して～

【現状と課題】
 ○視点1 こうか授業術5箇条に沿った授業スタイル(綾野版)が確立され、安心して学びに向かう姿が見られる。今後は、子どもたちが話し合ったり、まとめたりして「つながりのある学びを実感できる授業」を構築していく必要がある。
 ○視点2 子どもたちが自分の思いを伝え合ったり、相手を意識して考えたりする点に弱さが見られる。また、学級集団として学びを高めようとする集団力の弱さがあるため、一人ひとりの持ち味やよさを引き出し合うことによって、つながり合える学習集団づくりに取り組む必要がある。
 ○視点3 「進んで学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成」を目指していくためには、子ども教職員も相互につながり合う必要がある。全教職員が「チーム綾野」として団結し、研究・研修に取り組むとともに、基礎学力や学習規律などの学習の基本を共通理解して粘り強く指導する必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○単元や授業でつけたい力(特に「考えて書く力」等)を明確にした単元構想や指導計画の構築(校内研究会での実践)	・【全国学力・学習状況調査】「授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた」を60%以上		
○家庭学習を充実させる実践の工夫とこうか授業術・綾野版の徹底(学びづくり部会の取組との連携)	・【全国学力・学習状況調査】「家で自分で計画を立てて勉強していますか」を60%以上		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○一人ひとりの持ち味やよさを引き出し合い、自分の考えをのびのびと表現できる学級づくり(心づくり部会の取組と連携)	・クラスタイムやハッピータイムの取組内容や成果と課題を研究会で交流し、実践を検証する。		
・学級活動やクラスタイムの推進 ・教育相談、いじめアンケートの充実	・【全国学力・学習状況調査】「あなたの学級では学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」を70%以上		
○朝の会(ハッピータイム)において、児童が活躍できる場を増やすとともに、児童相互のつながりを深める活動を取り入れる。(体・仲間づくり部会の取組との連携)	・【全国学力・学習状況調査】「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」を70%以上		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○教師力を高める教職員研修の充実と学年主任会及びOJTの推進(職員会議や職員研修の場における共通理解と、研究主任やOJT推進リーダー及び学年主任を中心とした定期的な取組の推進)	・職員による研修振り返り 80%以上		
○基礎学力や学習規律などの学習の基本における指導と、教職員の学校組織力、生徒指導力向上を図る取組の推進(職員会議やミニケース会議における共通理解)	・生徒指導上の共通理解事項や綾野っ子の約束「はぐくみ」の状況を把握し、成果と課題を確認する。 ・【全国学力・学習状況調査】「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」を100%		

○学年始め(4月～5月)に学年集会や学級において、生徒指導や学習規律の指導を共通理解のもと全職員で指導を行い、職員会議等で課題を整理し、児童の心理的安全性を構築する。
 ○各月における校内研究会や学年主任部会、三部会において、授業や学級活動、朝の会(ハッピータイム)やクラスタイムの実践を交流し、成果と課題を明確にして実践を進める。
 ○各委員会の特徴を活かしたミニイベントや啓発活動を企画したり、児童会がロング昼休みを活用した企画・立案したりして、児童が主体となって進められるように年間計画を立てる。

今年度の取組の成果と課題